

## 国民生活センターに掲載された放射線測定器の調査結果に関するお知らせ

過日テレビ、ニュースで国民生活センターへ放射線測定器の調査結果が発表されていました。その件に関して弊社宛いただいた質問にお答えいたします。

Q1:御社が、取り扱っている測定器も出ていたようですが大丈夫でしょうか？

A1:弊社の測定器の場合でも残念ながら正直大丈夫だとは言えません。しかし、大丈夫であるために安全政策を社内基準で設けています。

- 1・社内校正 他社製品の誤差の検品もしています
- 2・電池の入れ替え
- 3・設定のクリーニング
- 4・内部のメンテナンス等

上記以外にも、自社基準を設けています。

Q2:通常的环境程度以下の自然放射線を正確に測定できなかったとの事でしたが、御社の測定器は大丈夫でしょうか？

A2:弊社でも同様な問題が起きたため、販売は基本的にしておりません。レンタルの機種については、自社基準にて測定検査後レンタル出荷しています。

Q3:調査の結果、2 銘柄で充電器に PSE マークの表示がなく、プラグの栓刃に穴がなかったため電気用品安全法に抵触するおそれがあると言っていましたが大丈夫でしょうか？

A3:PSE とは；

電気用品安全法は、電気製品が原因の火災や感電などから消費者を守るために施行された法律で、日本国内で100Vコンセントに接続して使用されるほとんど全ての民生用電気製品が対象となる安全規格です。

この法律により、メーカーや輸入業者は、消費者が区別できるよう適合製品にPSEマークをつけて販売することを義務付けられました。

PSEマークは、Product+Safety+Electrical appliance & materials の頭文字で、電気製品が安全性を満たしていることを示すマークです。

弊社の商品は、外国製の為PSEの無かった商品が多かったのは事実です。ガイガーカウンターが海外では軍用品であり、民生用では無かったからです。指導監督庁に連絡を取り対応と緊急対策をしたいと思っています。

Q4:同じ測定器でも、ネットで売っている物と御社が貸している測定器は性能が違うのでしょうか？

A4:基礎的なスペックは同じだと思いますが、生産国やメーカーで出荷時に故障率が幾つなのかわからないのが正直な状況です。前例の無い場所の環境下なので自社基準を指標にしています。



※TV やインターネットでは、中国製のみ表示されて故障や数値の誤差が強調されていますが、生産国やメーカーを問わず故障や誤差は発生します。精密機械なので故障が 0 の日本の電化製品と同様に考えるのが難しい商品です。

【事例 1】

「ガイガーカウンターを買おうと思うが通販で売っている程度の製品でどのくらいの性能が期待できるのだろうか。」(2011 年 4 月受付、70 歳代、男性、東京都)

A:通販サイトの機種に依りますが、空間線量が測定できる機械であっても最初に確認できる事項をして頂いてない場合は期待値の性能は出ません。

【事例 2】

「ネットで検索し、放射線測定器を注文した。商品が届いたが、機械に不具合があり、数値が表示されない。返品したい。」(2011 年 4 月受付、30 歳代、男性、静岡県)

A:弊社では、会社所在地に事務所もあります。郵送でも会社に持って来て頂いても、弊社の保証書があれば保証期間中であれば即時返品に応じます。

【事例 3】

「通信販売で放射能測定機を注文し 2 日前に届いた。どこを測っても示す値が 0.06 と 0.13 の 2 種類しかない。返品したい。」(2011 年 5 月受付、60 歳代、女性、東京都)

A:センサーが壊れている場合は同様な表示を起こすことがあります。事例 2 と同様に郵送でも会社に持って来て頂いても、弊社の保証書があれば即時返品交換に応じます。

【事例 4】

「インターネット通販で放射線測定器を購入したが測定値の数値がでない。業者と連絡も取れない。」(2011 年 6 月受付、40 歳代、女性、福島県)

A:センサーが壊れている場合は同様な表示を起こすことがあります。事例 2 と同様に郵送でも会社に持って来て頂いても、弊社の保証書があれば即時返品交換に応じます。

消費者庁 消費者政策課 資料抜粋

○要望先

消費者庁 消費者政策課

○情報提供先

経済産業省 商務情報政策局 商務流通グループ 製品安全課

消費者庁 表示対策課

厚生労働省 医薬食品局 食品安全部 監視安全課

農林水産省 消費・安全局 消費・安全政策課

文部科学省 原子力災害対策支援本部



社団法人日本通信販売協会

★コメント弊社の考え

ガイガーカウンターは、万能な物差しではありません。弊社として重要なのは、放射能数値が高くなった場合の警告を確実に出す事です。値段が高い安いもありますが、必要な方に必要な商品を提供してきた弊社のポリシーは、現在も初志貫徹で変わっていません。他社のようにネット通販だけでしたら、取材回数も多い弊社の商品は飛ぶように売れていたと思います。しかし、弊社は下記のように考えます。

1・ガイガーカウンターは、今まで扱ったことのない商品です。従来の商品より沢山の問題があるのは、承知で取り組みました。輸入されてきた商品を販売するのではなくレンタルすることで、一般消費者の皆さんに少しでも 安全確保のお手伝いが出来ればと思っています。

2・値段は？高いのではないの？

故障が多く、取扱説明書も日本語が少ない時から先行投資をしてきました。海外渡航や工場視察も行い、現在でも、どこよりも早い納期でご提供させて頂いております。電話による動作サービスやコンサルティング、簡易マニュアルも弊社では対応しています。

今の価格が、私的営利企業の弊社にはぎりぎりの設定です。

3・数値が高く出る問題について

弊社は、低く出る故障よりも高く出て安全重視を視野に考えています。

4・誇大広告について

弊社は、当初より、スペック表示はしても無知識な広告はしておりません。誤解のある表示に関しては電話サービスにより対応させて頂いております。ユーザーに関してのご利用者には、ご相談ダイヤルを24時間設置してありますのでそちらにお問い合わせください。

